

新型コロナ感染の中での学校の工夫

『できないではなく、どうしたらできるかを考える』

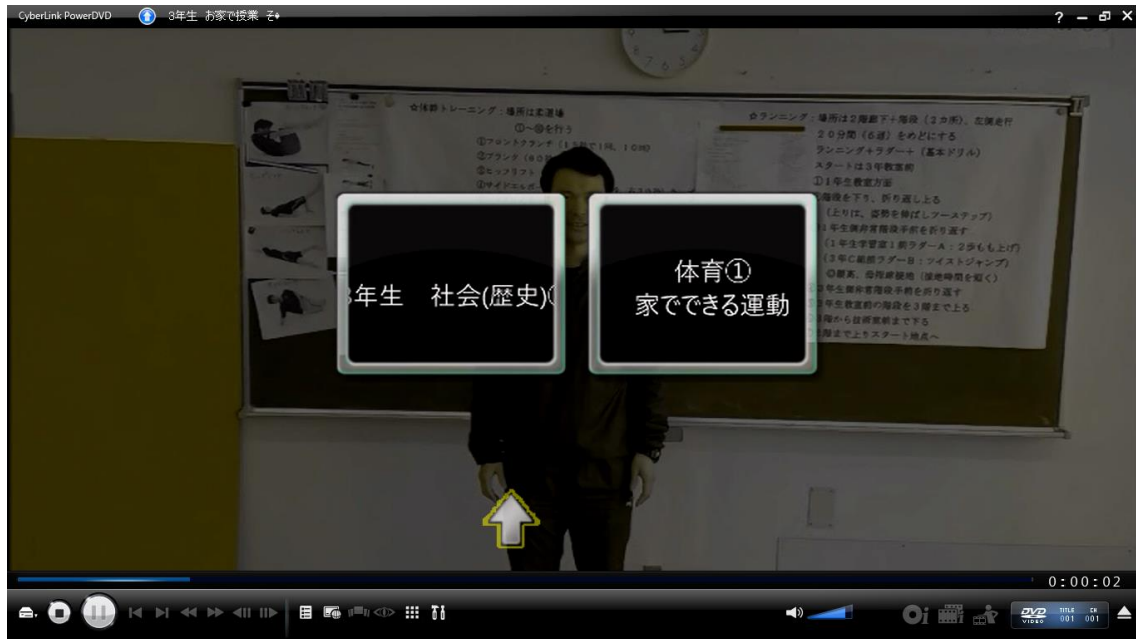
新型コロナウイルス感染拡大にともない、教職員の命を守る手立てとして、職員室に農業用ビニルを買ってきて、ビニルのパーテーションを垂らしました。ほとんどお金をかけずに全職員作業で作りました。





休業中の生徒への学習保障として、ZOOMによるオンライン授業を模索しましたが、家庭において WIFI 環境が整っていない家庭や、ZOOMに抵抗を示す家庭があったため断念しました。

では、他に何ができるかを考えたところ、DVDに15分から20分の授業を録画して、各学年ごとに配布する学習保障の仕方を考えてみました。1枚のDVDに6教科を録画したものです。音楽・体育・美術も入れています。



ソーシャルディスタンス（SD）は、グループによる協働的な学びを不可能にするのでしょうか。多くの教員が、当面は座席を話して前向きで授業をするという考えでしたので、長時間でない中で、グループでの学習ができるにはどうしたらよいか考えました。

それが、次の段ボールで制作した、4人よりのパーティションです。CPP（Connect People Partition）と名付けました。



CPP (Connect People Partition) 4人用

また、技術担当の教頭先生のアイデアで、手作りのフェースガードも作成してみました。材料費は60円程度です。



休業中の職員研修でフェイスシールドを作る

授業 Method 研究会でいくつか紹介すると、参加なされている特に若い教員の方々が、「自分もっと何ができるのか考えてみたい。」という声を発言してくださいました。

あれもできない、これもできないではなく、「どうしたらできるようになるか」の発送です。教員が創造者になることが必要なのです。